

季節の鳥

“ エナガ ” (スズメ目エナガ科)



成鳥



幼鳥



水浴び

眠そうな目におちょぼ口、まん丸のフォルムはこの地域で見られる最も可愛い野鳥と言っても良いのではないのでしょうか。昨今北海道の亜種シマエナガが全国的に人気ですが、「ただのエナガ」も劣らずキュートです。

エナガは留鳥で一年を通してあちこちの林で観察ができ、特に珍しいわけではありませんが、ほかの鳥に比べて早い時期から繁殖をはじめめる特徴があり、4月の初めには巣立ちするヒナもあるようです。そして巣立ち直後は木の枝などに整列して押し競饅頭する、いわゆる「エナガ団子」。そしてヒナを連れた群れがいくつか合流し大所帯で行動する姿が見られます。(私はこれまでに一度しかエナガ団子を見たことがないのですが・・・)

エナガは親以外の成鳥がヒナの世話をするという社会性があることでも知られています。人間も見習うところがあるようです。

また私の経験上の話で根拠はないのですが、エナガの群れが現れると声に反応するのかサンコウチョウも姿を見せることがあるようです。

今年は「エナガ団子」が見られるでしょうか？

松岡弘起

行事案内



注意事項：名札を必ずお付けください（お手持ちのもので名前が分かれば可）

感染対策として世話人は必要に応じマスクを着用します。体調不良の方は参加をご遠慮ください。

各探鳥会共通の持ち物：雨具、帽子。

その他：雨天中止（小雨時は現地判断）。双眼鏡・図鑑の貸し出し有ります。

開催時間の15分前には、ご集合下さい。集合された方は参加者名簿にご記載ください。

BWG No.:「遠江の鳥 バードウォッチングガイド 静岡県西部の身近な探鳥地」の探鳥地番号です。

行事名	葦毛湿原探鳥会	桜淵公園平日探鳥会	小笠山総合運動公園探鳥会	みどり～な探鳥会 (飯田公園)	磐田大池探鳥会
	愛知県豊橋市	愛知県新城市	袋井市	浜松市中央区	磐田市
開催月日	3月15日(土)	3月25日(火)	3月29日(土)	4月6日(日)	4月12日(土)
開催時間	9:00～11:00	9:00～11:00	9:00～11:30	8:30～10:30	9:00～11:00
難易度					
BWG No.	—	—	No.31 小笠山総合運動公園	No.2 飯田公園	No.26 磐田大池
集合	葦毛湿原 駐車場 カーナビマップコード 43279576*66	桜淵公園北駐車場 カーナビマップコード 43826090*46	エコパ第6駐車場。車は空いているスペースに停めて下さい。	みどり～な浜松市緑化推進センター(飯田公園)南側正門、管理棟前広場	大池駐車場(磐田大池南側)
公共交通	JR豊橋駅前 豊橋鉄道バス③乗り場、赤岩行 岩崎下車徒歩15分	JR飯田線東新町駅下車徒歩15km20分	JR東海道線愛野駅から徒歩20分	浜松駅バスターミナル6番のりば「北寺島・大塚」行、または8番のりば「アクト・鶴見」行。「緑化推進センター」下車。	遠鉄バス「磐田駅」南口または北口3番から福田・豊浜方面行き乗車「静岡産業大学入口」下車。JR磐田駅南口から南へ徒歩約20分。
持ち物 (共通以外)			コースはほとんど舗装道路ですので、履き慣れた運動靴でOK		お持ちの方はスコープ持参をおすすめします。
トイレ	探鳥コース内3カ所有	駐車場。コース内に有	あり	あり	駐車場に有り
コメント	早春の山野草スマイル、ハルリンドウやショウジョウバカマ、そしてイカル、シメ等の野鳥、ヒキガエルのオタマジャクシ等の自然観察です。湿原、田畑、利兵池、宮前池を巡る平坦なコース。	桜の名所 桜淵県立自然公園内の池、川、山麓や、さくら、もみじの木の下の小径で探鳥を楽しみましょう。	小笠山運動公園エコパで探鳥します。出発地点近くのひょうたん池で、まずカモ類をチェックします。続いてビオトープ園までの小川沿い、さらに、ビオトープ園周辺の森で、冬鳥などの小鳥を探します。	渡り鳥の中継地として知られるみどり～な緑化推進センター(飯田公園)。季節の変わり目には夏鳥、冬鳥の姿を同じ場所で見ることができるかもしれません。満開の桜の蜜を吸いに来るメジロやヒヨドリの姿を楽しむことができます。今回はみどり～などの共催で初心者向けの探鳥会となります。初心者の方も気軽に参加してください。	内陸部にあるにもかかわらず、磐田大池には潮の干満により干潟が出現します。八重桜が見頃を迎える、平坦で整備された一周13kmの遊歩道を回り、渡りの途中に立ち寄ったシギ・チドリやカモの仲間を中心に探します。運が良ければ、夏羽のシマアジなど、ちょっと珍しいお客さんに会えるかもしれません。
見てみたい鳥	イカル、シメ、ウソ、レンジャク、猛禽類	ジョビタキ、アオジ、シロハラ、イカル、レンジャク、カラ類	ヨシガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カワセミ、コゲラ、ヤマガラ、ツグミ、カワラヒワ、アオジ	シメ、シロハラ、アカハラ、オオルリ、キビタキ、コサメビタキ等ヒタキ類その他、カラ類等	アオアシシギ、セイタカシギ等のシギ・チドリ類、ヒクイナなど
世話人 (連絡先)	川村研也 053-456-3011 増田 裕 090-8850-0317 中村修子 久保 明	川村研也 053-456-3011 富永准子 中村修子 久保 明 080-2078-2122	梅原 進 090-7681-3004 渋谷 修 笹竹伸彦 谷口文雄	谷口文雄 090-4795-6074 松岡弘起、高田年宏 柴 和宏、(永山)	石本史子 鈴木正文 090-1759-4342 岡本健二、川合正晃 渋谷 修、加藤律子



桜淵公園へのアクセス



葦毛湿原へのアクセス



みどり~な(飯田公園)へのアクセス



小笠山総合運動公園へのアクセス



磐田大池へのアクセス





行事報告

行事名	開催月日・時間	世話人	参加者数
細江湖探鳥会	11月24日(日) 9:00-11:30	岡本健二	46名
小春日和の中、のんびりと楽しい探鳥会となりました。冬鳥のカモ類はやや少なめでしたが、ミサゴがダイブする瞬間や後背地で小鳥類をたくさん見ることができ、充実した探鳥会となりました。			
	魚ゲット!ミサゴのダイブ	ホオジロ	
桶ヶ谷沼探鳥会	12月15日(日) 9:30-11:30	高田年宏	48名
冬型の気圧配置で風の吹く肌寒い気候の中、大勢の参加者の皆さんと冬の桶ヶ谷沼を散策しました、トモエガモが見られて良かったです。			
	トモエガモ	キセキレイ	
太田川河口探鳥会	12月21日(土) 9:00-11:15	高田年宏	20名
冬の冷え込みはあったものの風がなく体感温度もそれほど低く感じませんでした、鳥までの距離は遠いもののウミアイサの群れやカモ類に混じってトモエガモも見られました。			
	暁の空にカワウの群れ	コサギとウミアイサ	
佐鳴湖探鳥会	1月3日(金) 9:00-11:30	増田 裕	52名
令和7年の新春を飾り佐鳴湖探鳥会が開催されました。たくさんの方にご参加いただき賀詞交換することができました。比較的穏やかで過ごし易い新春の湖をゆっくりと楽しみました。ノスリやカワセミも堪能することができましたが、カモ類の少なさには驚きました。			
	穏やかな湖畔を歩く	カワセミ	
上島親水公園探鳥会	1月18日(土) 8:30-10:40	笹竹伸彦	30名
昨年からはまった街中公園探鳥会です。ほぼ無風、薄日射す絶好の探鳥会日和に30人のメンバーが集まりました。さほど広くないものの、数ヶ所ですっかり時間を掛けて観察した結果、35種類(イソヒヨドリ:開催時間前含む)もの鳥が確認出来ました。探鳥会終了後にミサゴ・チョウゲンボウも出現しましたが参加の皆さんに確認いただけなかったのが残念です。			
	ヨシガモ	ツグミ	

探鳥会出现鳥リスト

通し 番号	鳥 名 (全 229種)	1124 細江湖	1215 桶ヶ谷沼	1221 太田川河口	0103 佐鳴湖	0118 上島親水公園
12	オカヨシガモ					●
13	ヨシガモ		●			●
14	ヒドリガモ	●		●	●	●
16	マガモ	●	●	●	●	
17	カルガモ	●	●	●	●	●
19	オナガガモ	●	●	●		
21	トモエガモ		●	●		
22	コガモ	●	●		●	●
23	ホシハジロ	●				
24	キンクロハジロ	●		●		
25	スズガモ	●		●		
29	カワアイサ	●				
30	ウミアイサ			●		
31	カイツブリ	●	●			●
32	カンムリカイツブリ	●	●	●	●	●
33	ハジロカイツブリ				●	
34	キジバト	●		●	●	●
35	アオバト				●	
38	カワウ	●	●	●	●	
41	ゴイサギ	●				
44	アオサギ	●	●	●	●	●
45	ダイサギ	●	●	●	●	●
47	コサギ	●		●	●	●
50	ヒクイナ	●				●
51	バン	●				●
52	オオバン	●	●		●	●
66	イカルチドリ					●
75	タシギ					●
88	イソシギ	●		●		●
101	ユリカモメ			●		
105	セグロカモメ	●				
110	ミサゴ	●	●	●		
112	トビ	●	●	●		●
121	ノスリ	●	●		●	
130	カワセミ	●			●	●
134	コゲラ		●		●	
139	チョウゲンボウ	●				
142	ハヤブサ			●		
146	モズ	●	●	●	●	●
152	ハシボソガラス	●		●	●	●
153	ハシブトガラス		●	●	●	●
157	ヤマガラス		●		●	
159	シジュウカラ		●		●	
160	ヒバリ	●				
165	ヒヨドリ	●	●	●	●	●
166	ウグイス	●	●		●	
168	エナガ				●	
172	メジロ	●	●	●	●	●
175	セッカ	●				
181	ムクドリ	●			●	●
189	シロハラ		●	●	●	
190	アカハラ					●
191	ツグミ			●		●
195	ジョウビタキ	●	●	●	●	●
197	イソヒヨドリ	●			●	●
207	スズメ	●	●	●	●	●
208	キセキレイ	●	●			●
209	ハクセキレイ	●	●		●	●
210	セグロセキレイ	●	●		●	●
211	ビンズイ	●				
212	タヒバリ				●	
214	カララヒワ	●			●	●
215	マヒワ		●			
222	ホオジロ	●	●			●
226	アオジ	●	●		●	●
228	オオジュリン	●				
	リュウキュウサンショウクイ		参考			
外来	ドバト	●		●		●
外来	ソウシチョウ		●			
	計	46	32	28	37	35

2025年5・6月行事予定

月	日	曜日	行事名	世話人
5	1～16	木～金	野鳥展（バードピア浜北）	谷口 笹竹、富永、増田
	10	土	県立森林公園探鳥会	笹竹 谷口、松岡、倉成
	10	土	総会（県立森林公園森の家）	増田 松岡、全幹事、サブリーダー、他
6	7	土	小國神社探鳥会	笹竹 梅原、中村修子、倉成
	14	土	秋葉神社上社	高田 中村修子、富永、柴、川村
	21	土	菩提山探鳥会	久保 梅原、川村、太田

※※ 5月、6月分は未確定の為、変更の可能性が有ります。

幹事会だより

日時:2024年12月15日(日) 磐田市総合健康福祉会館(iプラザ) 研修室

A. 審議事項

- 2025年度から会報を季刊にする件
2025年5・6月号までは従来通り。次回2月の幹事会にて審議し総会に提案。
幹事会出席者は全員賛成。
- 来年度の行事策定計画
 - ・2025年間行事計画策定
1月中に探鳥部会にて案を策定、2月1日の幹事会で概略決定、3月29日の幹事会で最終決定。会報5・6月号に掲載。新会員獲得のため初心者向け探鳥会の回数を増やすことの要望があった。
 - ・2025年度四県支部合同探鳥会(遠江幹事) 候補地: 浜名湖 GP など
 - ・2025年5/1-16野鳥展 ・2025年度総会 5/10(朝 森林公園探鳥会)
 - ・2025年11/8,9全国連携団体総会 ・2025年11/28-12/8 秋の野鳥写真展(小國神社)
- 2/15 浜名湖ガーデンパーク・県合同探鳥会の準備について
(詳細は2/1次回幹事会にて)
- 会 HP の新 SNS 検討 インスタグラムなど SNS にページ開設を検討 検討担当: 松岡
- 来年度の体制役割検討 次回2/1幹事会で2025年度役員を検討。3月の幹事会にて決定。
5月総会にて承認。

B. 予定確認

- 12/21 太田川河口(高田)、1/3佐鳴湖(増田) 申請要、ガンカモ調査、
1/18 上島親水公園、2/1 県立森林公園(PM 幹事会、初心者向け探鳥会)、
2/15 浜名湖ガーデンパーク(兼県合同探鳥会)、2/22 鳥羽山公園

会員動向

2025年 1月度新規入会者:2名

1月度末会員総数:364名(うち特別会員8名)

『バードウイーク野鳥展 2025』 作品募集

今年も例年通り「バードウイーク野鳥展 2025」を開催します。(後援: 県立森林公園バードピア浜北)
野鳥の魅力と日頃の活動を皆さんに見て楽しんでもらえる機会です。

野鳥・自然をモチーフにした作品ならなんでも結構です。初心者の方、探鳥会等で写真を撮っている方の応募も大歓迎です。

テーマ: “野鳥も人も地球のなかま”

部門: 写真、ビデオ、絵画、イラスト、カービング、野鳥・自然をモチーフにした
手工芸品、野鳥俳句、フォトフレーム(電子データ作品)等・・・

会期: 5月1日(木)～16日(金) 7・14日(水) 休館日

会場: 県立森林公園内・バードピア浜北 創作展示室

出展を希望される方は、3月31日(月)迄に世話人谷口文雄までご連絡ください。

応募資格: 日本野鳥の会遠江の会員とその家族

また、会場準備、当番などのボランティアにご協力いただける方もご連絡ください。

: 写真サイズは額(パネル)入り四切ワイド～全紙

本年もA4サイズ写真(野鳥、山野草等)をラミネート処理(額入り)をして大判の写真と合わせて展示します。(枚数制限あり)希望者には額付きで返却。

※ 営業場所での撮影、餌付け、音声による誘引等で撮影されたマナーに反する作品は
ご遠慮ください。

「お問い合わせ先」野鳥展世話人 谷口文雄

Tel: 090-4795-6074 Mail: hamakita_taniguchi@yahoo.co.jp

フォトフレーム展示用電子作品の応募を歓迎します。

(スライドショーでの) 展示電子データ(JPG)の提出先及び問い合わせ先

増田裕 Mail: ymasudayu@yahoo.co.jp Tel: 090-8850-0317 データー締切 4月20日(日)



昨年の野鳥展の様子



バードカービングの展示も

2024年 10月～11月度 モニタリング調査結果

調査保護部

標記、調査結果がまとまりましたので報告します。詳細データはホームページ(以下 HP)を見て頂くとして、前回ご案内の通り、今回は季節性のシギ・チドリ類5種(ハマシギ、チュウシャクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、シロチドリ)の分析例を紹介しします。尚、シギ・チドリ類は元々個体数が少なく、前回ご紹介した留鳥生のシギ・チドリを含めても、2008年5～6月以降のモニタリング調査でカウントされた数は全体のカウント数の約0.9%(2222羽)に過ぎません。ということで、前回含めて、ここでご紹介するのはこの0.9%についての分析例であることをご承知下さい。

まずシギ・チドリ類全体の動向ですが、10～11月のモニタリング調査結果を盛り込んだ総カウント数(2008年5～6月以降の)を円グラフ1に纏めています。このグラフはHPに掲載しますのでご覧下さい(10～11月のモニタリング調査でのシギ・チドリ類のカウントは少数に留まり、総カウント数のグラフは前回紹介したものと殆ど変わりません)。

次にハマシギ、チュウシャクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、シロチドリの分析表(表1～表5)をHPに掲載しますので是非ご覧ください。又、この分析表をベースに、調査地点数の関係で2012年10-11月以降の調査データを使って、これまでと同様に平均カウント数(カウント数÷確認できた地点数)と平均確認地点数(確認できた地点数÷調査実施地点数)を分析した結果を表6に纏めました。また、これら5種の平均カウント数と平均確認地点数のグラフ(グラフ2～グラフ6)もHPに掲載しますのでご覧ください。尚、表6では参考として前回ご紹介した留鳥性のシギ・チドリ3種についても10～11月のモニタリング調査結果を盛り込んだ最新情報を表示しています。この表6には確認地点数も表示していますが、これを見ると季節性のシギ・チドリ類がカウントされている場所は非常に少ないことが分かります。また、その少ない中でも調査地点によるバラツキが非常に大きく、平均で表された数値以上に多い場所は極端に多く、少ない場所は極端に少ない傾向があります。ところで、これまで何回かご紹介してきた分析例は留鳥性の鳥種を対象にしていることが多く、大体確認地点数の半分以上で確認されているものでした。この為調査地点の違いはあまり考えずに、カウント総数を確認できた地点数で割った平均カウント数で分析を進めてきたのですが、季節性のシギ・チドリ類のように非常に少ない場所に、多数が集中する場合は「調査地点」を含めた別の視点が必要となると考えています。この為、今回は、鳥種毎且つ調査地点毎の「延べ確認回数」という視点を導入し、場所毎のカウント数をそれぞれの「延べ確認回数」で割った平均カウント数Ⅱと、「延べ確認回数」を総確認回数(2012年10-11月以降は37回)で割った平均確認率を求めてみました。この結果を表7に示します。この表は数字ばかりのちょっと見難い表ですが、よく見るといろいろなことが見えてきます。例えば、太田川河口のハマシギについては、カウント調査時に40%の確率で平均25羽カウントされているとか、磐田大池のアオアシシギはカウント調査時の2回に1回は平均10羽がカウントされている等、これらの数字をもとに「多い少ない」についての量的な少し突っ込んだ議論ができるようになるかもしれません。又、確認された環境から、チュウシャクシギは塩水の環境を好み、淡水の環境では見られないとか、アオアシシギはどちらかという淡水の環境を好むらしいというような習性的なことも見えてきています。この表は是非じっくりと眺めて見て下さい。ということで、新しい分析の視点も取り入れつつモニタリング調査継続していきます。今後とも協力宜しくお願いします。

表6 季節性シギ・チドリ類5種 2012年10-11月以降の平均カウント数と平均確認地点数

種類	確認地点数	カウント数	平均カウント数	平均確認地点数
ハマシギ	4	561	140.3	17.4%
チュウシャクシギ	4	185	46.3	17.4%
アオアシシギ	5	209	41.8	21.7%
キアシシギ	7	143	20.4	30.4%
シロチドリ	3	95	31.7	13.0%
イソシギ	14	383	27.4	60.9%
ケリ	10	210	21.0	43.5%
イカルチドリ	6	135	22.5	26.1%

表7 季節性シギ・チドリ類5種 2012年10-11月以降の延べ確認回数、カウント数、平均カウント数Ⅱ、平均確認率

調査地点No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23			
調査地点名	持方池	三田池	磐田池	豊田池	天神川河口	磐田大池	磐田池	太田川河口	磐田池	新川河口	ついで池	磐田大池	天	天	磐田池	磐田池	かたがね池	かたがね池	かたがね池	かたがね池	かたがね池	かたがね池	かたがね池	かたがね池		
延べ確認回数	ハマシギ				12	15	1						6													
	チュウシャクシギ				18	6	2						1				12									
	アオアシシギ				1	6	1						8													
	キアシシギ				2	12	13						9													
	シロチドリ				10	6	4	1	29	13			5	27	21									14		
カウント数	イソシギ				14	1	11	10	14			1	5	2	1											
	ケリ				6	1	11	5	5				5	23										5		
	ハマシギ					99	368	1					93													
	チュウシャクシギ					181	53	5				116												11		
	アオアシシギ					5	5	55	49			22					18							2		
平均カウント数Ⅱ	キアシシギ					28	10	9	5	97	51	1	28	60	42								10	1	16	
	シロチドリ					58	1	4	42	39	37	1	2	10	70								25		12	
	イソシギ					27		8.3	25	1			16													
	ケリ					10	3	3	1			3														
	イカルチドリ					5	1	9.8	49			2.8														
平均確認率	ハマシギ					2.8	1.7	2.3	5.0	3.3	3.9		5.8	3.0	2.0								1.0	2.0	1.0	1.3
	チュウシャクシギ					4.1		1.0	3.8	3.9	2.6	1.0	2.0	1.5	2.0								3.1			
	アオアシシギ					4.5		4.0					2.4												2.4	
	キアシシギ							32.4	40.5	2.7			16.2													
	シロチドリ							48.6	5.4	2.7			16.2													
(総確認回数(96))	イソシギ							2.7	2.7	16.2	2.7		21.6													
	ケリ							27.0	16.2	10.8	2.7		78.4													
	イカルチドリ							37.8	2.7	29.7	27.0	37.8	2.7	2.7												
	ハマシギ							16.2				13.5		13.5	5.4	2.7										
	チュウシャクシギ												13.5	73.0	56.8								8.1	13.5	2.7	37.8

河川環境楽園探鳥会報告

2024年 11月 24日 四県支部合同探鳥会(岐阜県各務原市・河川環境楽園)が開催されました。久しぶりの4県支部合同探鳥会でした。日本野鳥の会岐阜の主催で岐阜県各務原市河川環境楽園で愛知県支部、野鳥の会三重、遠江を加えた合同探鳥会です。会場は公園としても整備されており、川や池、森や周辺には田畑もありバードウォッチングとしては抜群の環境でした。開催当初には虹も出たり小雨もあるお天気でしたが、ミサゴやノスリなどのワシタカ類、ベニマシコやツグミなどの小鳥類カワセミやなどの水辺の鳥・カモ類も多く、楽しめる探鳥会となりました。遠江からは11名の参加があり、全体では約50名の大変盛況な探鳥会となりました。野鳥の会岐阜の皆さんお世話になりました。来年度は遠江も候補地に挙げられているようです。

(河川環境楽園探鳥会で認めた野鳥) :オカヨシガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、ミサゴ、トビ、ノスリ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、アオジ



参加者の皆さん

令和六年秋の野鳥写真展開催報告

11月22日から12月2日迄紅葉や七五三等で賑わう小國神社にて秋の野鳥写真展が開催されました(日本野鳥の会遠江主催、遠江国一宮 小國神社後援)。展示テーマを「冬の赤い鳥」「青い鳥達」「秋の訪れ」「秋色に映える野鳥」「ワシタカ類」「山野の鳥」「水辺の鳥」「鳥のある風景」「バードカービング」「羽付き写真」「絵画」等に分け多くの作品が展示され盛況のうちに終了しました。今回は紅葉の小國神社での写真展としては8年目になりました。出展作品数は93点、入場者数は1,941名で、来場者の評価は高く、年々作品のレベルが上がってきている、もはや秋の小國神社の風物詩では、テーマごとの展示が見やすいなどの評価を頂きました。来年度は紅葉の時期を更に検討し見て頂くチャンスを作っていきたくと思っていますので宜しくお願いします。



羽付き写真等も展示

田園浅羽

久保 明

私の居住する浅羽田園地帯のウォーキングコースをご案内をします。

田んぼ廻りを歩くのがほとんどですが、途中には浅羽北小、浅羽図書館、浅羽公園、メロープラザ、遊水池、馬伏塚城跡、了教寺といった行政機関や寺、歴史的遺跡もあり、田園散策と言え割と変化に富んでいて、ここ 10 年定期コースとして定点観測を兼ねたウォーキングを続けています。春はツバメ、夏はチュウサギ、秋はモズ、冬はツグミが主役ですが、その他主役級の野鳥に出会うことができ、1.5 時間の探鳥ウォーキングが止められません。特に、キジ、チョウゲンボウ、ノスリ、オオタカ、クサシギ、タシギ、カワセミ、タヒバリ、ジョウビタキ、コチドリ辺りに出会うと何か得した気持ちになり歩き甲斐があったと満足するものです。

かつてオオハクチョウ、コウノトリ、ムナグロ、マガンと言ったレアな野鳥にも出会うことが出来ました。田園散策を探鳥ウォーキングに切り替え可能の地、それが田園浅羽と言えます。



北に遠く山並みを望みます。



田んぼの水路はチェックポイント。



遊水池にはマガモ、コガモ。



水路にはクサシギが通年エサ探し。



冬場はタシギ。



いつも愛くるしいジョウビタキ(雌)。



冬の主役の一つ ツグミ。



浅羽記念公園の軽便鉄道。



馬伏塚城跡。

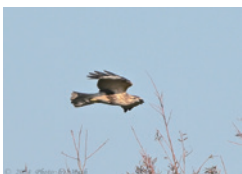
鳥だより



2024 11.18 チュウヒ



チュウヒ



11/30
コチョウゲンボウ♀

ノスリ

浜松市中央区天竜川 小林雅彦



- 11.25 ノスリ
- 11.30 コチョウゲンボウ♀
- 12. 7 ウミネコ乱舞-ここでは初めてでした、突堤でカラスが感心して?眺めていました。
- 12. 9 ヒドリガモ、交雑種でした、ミュビシギ突堤飛び、風物詩です。

浜松市中央区天竜川 小林雅彦
袋井市 小林雅彦
浜松市中央区江の島 鈴木智丈
浜松市中央区馬込川河口 鈴木智丈



ミュビシギ



ルリビタキ♂

トラツグミ



- 12.16 ルリビタキ、トラツグミ、
- 12.19 クロツラヘラサギ、ミコアイサ

浜松市浜北区 小林雅彦
浜松市中央区天竜川 小林雅彦

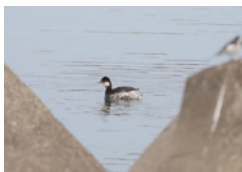


(手前)
クロツラヘラサギ



ミコアイサ

ハジロカイツブリ



- 12.20 ハジロカイツブリ ちらりと天竜川河口で見られました。
- 12.16 ムジセッカ

浜松市中央区 鈴木智丈
浜松市浜北区 小林雅彦

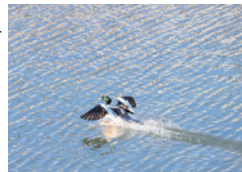


ムジセッカ



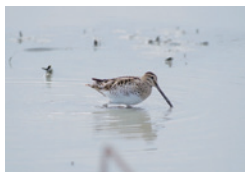
イカルチドリ

12/22
カワアイサ



- 12.21 イカルチドリ群れ 伊左地川の中州にいました。
- 12.22 カワアイサ♂3、♀3
- 12.26 コイカル いつもいるシメかと思ったらコイカルでした、エノキの種子を黙々と食べていました。
- 12.26 タシギ群れ 蓮田に7羽入っていました。

浜松市中央区 鈴木智丈
浜松市浜名区細江 鈴木智丈
菊川市西方 石本史子
浜松市中央区神ヶ谷 鈴木智丈



タシギ



ミコアイサ

1/1
ミコアイサと
キンクロハジロ

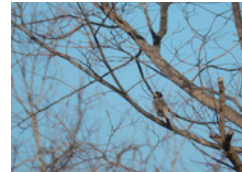


- 2025 12.30 ミコアイサ♀2、♀1 養魚場に入っていました。
- 1. 1 ミコアイサ、キンクロハジロ、 今年の初見は養魚池での遊泳でした。
- 1. 4 トビとセグロカモメにカワウ等の群飛びが見られました。それにヌートリア。
- 1.13 コイカル 12月21日の初認から毎朝、エノキの種子を食べに来ます。

浜松市中央区篠原 鈴木智丈
浜松市中央区篠原 鈴木智丈
浜松市中央区篠原 鈴木智丈
菊川市西方 石本史子



1/4
トビ
セグロカモメ
カワウ



コイカル

ミヤコドリ



- 1.17 ミヤコドリ ほぼ1日中、中洲にいました。 浜松市中央区浜名湖 増田 裕

今回は鳥便りありがとうございました。次回もみなさんからのたくさんのお便りお待ちしております。
*次号の締め切りは2025年3月15日必着です！ 手紙・FAX・eメールにて下記担当までお願いします。
〒430-0923 浜松市中央区北寺島町 103-2 高田年宏 FAX 053-456-4058 Email:houson@apricot.ocn.ne.jp

＊会員専用ホームページパスワード：「wbsjtm2」